

TRICOLOR

大会・公式戦結果

Top

【神奈川県社会人サッカーリーグ 1 部 (KSL-1)】

▼第7節

vs ALL Z 4-0O

▼第8節

vs 横浜 GSFC コブラ 0-5●

▼第9節

vs VERDRERO 港北 2-0O

Youth

【県 U-18 リーグ】

vs 釜利谷高 1-3●

vs 横浜清風高 1-2●

Junior Youth

【高円宮杯県大会】

▼2 回戦

vs 横浜市立戸塚中 2-4●

【県 U-15 リーグ】

vs 川崎チャンプ 0-0△

※5 チーム中第3位

小6

【横浜国際チビッ子】

vs 公田 SSS 0-0△

vs アローズ SC-B 2-0O

小4

【野川杯】

▼グループリーグ

vs セリエ FC 0-2●

vs NKFC 0-2●

3 チーム中第3位で5位決定戦へ

▼5位決定戦

vs FC 隼 12-2O

※6 チーム中第5位

【横浜国際チビッ子】

☆S チーム

vs FC イーグルス 3-2O

vs 田奈 SC 0-4●

☆A チーム

vs 鶴見東 FC 0-0△

vs 港北 FC 0-5●

小2

【横浜国際チビッ子】

☆A チーム

vs エストレーラ FC 0-4●

vs ハツ橋 SC 1-1△

Papas

☆Rec

【県シニアリーグ四十雀 4 部】

vs FC430 2-0O

vs 明星 0-0△

☆Comp

【県シニアリーグ四十雀 2 部】

vs 南足柄 2-4●

vs 多摩クラブ 3-0O

vs ウィットマスターズ 1-0O

今、グラウンドでは・・・

Top

【県リーグは戦国時代】

Top チームは9月に3試合行い、対 ALL Z に4-0、横浜 GSFC コブラに0-5、VERDRERO 港北に2-0 で2勝1敗という結果になりました。

試合結果を見てもらっても、かながわクラブは強いのか弱いのか……？ しかし、こういう試合結果よりは、試合の内容や実力はどのチームも拮抗していると思います。県リーグ1部の星取表を見



ていただいてもわかるように、どのチームも勝ちきれていません。

たとえば、0-5 で負けた横浜 GSFC コブラ戦でも、負け惜しみに聞こえるかもしれませんが、実力はそれほど差があるとは思えません。サッカーの勝敗を決めるのは、いろいろな要素がありますが、やはり最後は強く勝とうと思う気持ちではないでしょうか。

この原稿は VERDRERO 港北戦の直後に書いているのですが、先週の横浜 GSFC コブラ戦と違うのは、粘り強さでした。ボールを追いかける、ボールを奪う、ボールを奪われたら取り返す、サッカーの基本だと思いますが、それができるかどうかは自分自身との戦いだと思うのです。VERDRERO 港北戦は今シーズンで一番集中して勝ち取った勝利だと思います。

県リーグもいよいよ残すところは、10月9日と16日の2試合のみ。

その結果次第では、まだまだ上位に行くチャンスもあれば、降格の可能性すらあります。

厳しい戦いは承知ですが、戦国県リーグを勝ち抜くために、Top の選手は全員がんばっています。

9/25 に保土ヶ谷公園サッカー場まで応援に来ていただいた皆さまには情けない試合をお見せしてしまいましたが、引き続き、皆さまの応援をよろしく願います。(中本 洋一)

Youth

高コーチが指揮を執るようになって約1ヶ月。

試合の結果にはなかなか結びついていませんが、選手一人一人の意識が徐々に変わってきています。

また、戦術を少しずつ理解してきたため、1戦ごとに内容がよくなっています。もちろん、サッカーは相対的なスポーツ、つまり相手がいる、その相手のレベルにより左右されるスポーツであるために、思うように結果に結びついてはいません。

高校生という年代は、周囲にあまりにもたくさん興味を引くものが存在して

いるため、サッカーだけに打ち込むのは難しいでしょう。

しかし、トレーニングは毎日ある訳ではありません。時間の使い方をもっと工夫し、今取り組んでいる目の前のことに集中する必要があります。

「やる時はやる。休む時は休む」といったメリハリがとても大切です。それができるようにになれば、選手たちはもっと飛躍的に伸びると思います。

(内田 佳彦)

Junior Youth

【高円宮杯&県 U-15 リーグ】

9月は、2試合の公式戦が行われました。

チームとしての大きな目標であった高円宮杯は、2回戦での敗退となりました。

前半を 0-2 で折り返した後半、まずは運動量で相手を上回り、先に点を取りたいところでしたが、逆に追加点を奪われ3点のビハインド。それでも選手たちはあきらめず、短時間で立て続けに得点し、一時は1点差まで詰め寄りましたが、その後4点目を奪われ、2-4 での終了となりました。

また、県 U-15 リーグ最終戦は、両チーム互いに決定機を決めきれずスコアレスドローに終わりました。

10月の公式戦は、市長旗杯神奈川区予選と県 U-13 リーグが組まれていますので、引き続き、保護者の皆さまの応援よろしく願います。(二木 昭)

小 6

【現地集合】

現在、小6は練習試合や公式戦に出かける際、安全を考慮した範囲で(公共交通機関が利用できることをベースに)現地集合にしています。もちろん必要な情報はこちらから案内をしますが、最近各自が電車時間や最寄り駅からの徒歩ルートも確認してから参加しています。サッカーをするためには様々な準備が必要なことを改めて認識する良い機会になっていることと信じています。

【国際チビッ子】

9/25 から予選リーグが始まりました。

初日の2試合は、

vs 公田 SSS 0-0△

vs アローズ SC-B 2-0○

の結果でした。

様子はというと、公式戦の緊張もあってかプレーの精度に欠けドタバタした内容になっています。選手たちとは「ファーストタッチを大事に」「慌てず丁寧プレーしよう」と繰り返し話し合いながら残り3試合に臨む準備をしています。

<訂正>先月のトリコロールでご案内した対戦チームに変更がありました。以下に訂正しご案内します。

■第 43 回横浜国際チビッ子サッカー大会 L-2-4 ブロック:アローズ SC-B、フレンド SC、公田 SSS、山田若竹 SC、ヨコハマキッカーズ、かながわクラブ

【応援ありがとうございます！】

保護者皆様には遠方までお越しいただきありがとうございます。引続き彼らに元氣と勇気を与えてくれるアツイ応援をお願いします！(小野 津春)

小 5

【サッカーは子供を大人にし、大人を紳士にする。】

これは、日本サッカーの父であるデットマール・クラマーさん[独]の言葉です。

ある日のトレーニングマッチでの出来事です。DF ラインの低い位置でゴールキーパーからボールを受けた選手が相手の寄せにより簡単にボールを奪われてしまい、危うく失点につながるシーンがありました。その直後のことです。

「○○が早くサポートに入ってあげれば、ピンチにはならなかったよ。」

ボールを失った選手にはなく、サポートの動きをサポートした選手に対して修正を求める声がピッチ上に響いたのでした。

おそらく、少し前までならミスをした選

手に対して、直接厳しい言葉をかけていたはず。彼の機転の利いた一言により、ボールを失った選手はその後も萎縮することなく、最後まで積極的なプレーを続けることができました。

この時、クラマーさんの言葉を思い出して、まさにサッカーを通じ子供から大人に変わる瞬間を見たような気がして、思わず笑みがこぼれたのです。

(鈴木 章弘)

小 4

【国際チビ子に向けて～一生懸命に取り組む～】

秋の公式戦が始まりました。今回も春の公式戦同様「勝つこと」を第一のテーマとして掲げました。勿論、勝つためには手段を選ばずなことではなく、各自が自己の最大限の努力をして、チームの勝利のために一生懸命に取り組むことが勝利の最短距離であるという認識を全員で確認しました。失敗することを極端に恐れるあまり、子どもたちの中には一生懸命に取り組むことが、何か格好が悪いといった風潮があります。一生懸命に努力して失敗するくらいなら、適当にお茶を濁して失敗した方が心の受ける傷は浅いと考えてるのでしょうか。一生懸命に努力して失敗したのなら、その原因を追究し次につなげることができませんが、いい加減な態度で臨んで失敗しても失敗の原因を考えることすらできないでしょう。「失敗しても良いのだよ、一生懸命にやったのなら…」と子どもたちには伝えたいものです。

額に汗して一生懸命に努力することの大切さをこの時期には、言葉は悪いですが、徹底的に叩き込む必要があると考えます。上手い下手に関係なく一生懸命に取り組むことは誰にでもできることです。サッカーの下手な子に上手なプレーを望むことは酷です。上手な子にもっと上手なプレーを望むのも欲張りすぎです。そうではなくて、皆が最大限の努力を惜しまないこと、自己の限界に挑戦することを最低限の目標とするのです。

【人の嫌がることはしない！】

チームの全員が同じ目標を持って、同じベクトルで努力するには、一生懸命に取り組む人を馬鹿にしたり、茶化したりすることを決して許すことはできません。同様に、人の嫌がること(あだ名や肉体的欠陥)を言ったり、したりすること(からかうこと)、も許してはなりませんし、ふざけていて仲間に怪我をさせるようなこともあってはならないでしょう。自分が言われたり、されたりしたら嫌なことを他人に対してすると喧嘩になり、チームワークが乱れます。また、遊んでいて仲間に怪我をさせてはチームとしての力が低下します。

【仲間を尊重する】

「勝つこと」のためにはチームの全員がベストコンディションで、最大限のパフォーマンスを発揮しなければならないのです。チームの中に仲間を馬鹿にしたり、茶化したりする選手が一人でもいると力をあわせて協力したり、足りない部分を補ったりする気持ちが失せます。表面的な仲の良さを求めているのではありません。チームの仲間を尊重することが大切です。サッカーは一人ではできません。仲間がいてチームが成り立ち、試合ができます。お互いを認め、尊重する気持ちがあれば、馬鹿にしたり、茶化したりすることはなくなることでしょ。更には相手チームの選手を尊重することも大切です。そして、審判をしてくれる大人、会場を用意してくれる大人、お弁当を用意してくれるお母様、何の心配もなくサッカーをやらせてくれるお父様など、自分を取り巻く多くの人々を尊重することが大切です。そうした大人たちがいなければ試合が成立しませんから。

【出場機会は平等か？】

今回チーム分けをするにあたっては、技(サッカーの技術)、心(戦う気持ち、頑張る気持ち)、体(体の大きさ、体の強さ)という3つの観点から分けました。これは子どもたちにとって、非常に厳しいことであつたと想像します。悪く言えばレッテルを貼られたようなものですか

ら。しかし、こうした厳しさを味合わせることも子どもたちの健全な育成には不可欠です。ナイフで自分の指を切って、ナイフの適正な使い方を覚えるといった例え話がありますが、子どもの頃の力加減で指を切っても高が知れています。しかし、大人になって、大人の力の入れ具合で指を切ったら大怪我になります。ですから、ある程度の厳しさを子どもの時に知らせることは意味のあることなのです。

では、出場機会についてはどうでしょうか。勝利至上主義であれば、ベストメンバーのみで1試合を戦いきることになるでしょう。ただ、どこぞのチームのようにベンチにいる控えの選手のほとんどが出場できないということは避けたいと思います。勿論、「勝つこと」には重きを置いていますが、全員に何らかのチャンスを与えることも考えなければなりません。チームが勝つために自己の最大限の努力を惜しまない姿勢を持つことが前提にはなりますが…。

具体的には、全員に同じ出場時間という量的な平等というより技・心・体という観点からの質的な平等をと考えています。

【最後に】

重ね重ねのお願いになりますが、保護者の皆様方には引率のお手伝いや応援、そして何よりも子どもたちが試合に集中できるように様々なご協力をお願いいたします。自動車をご利用の際には路上駐車は絶対におやめください。近隣の有料駐車場に停めてください。また、審判資格をお持ちのお父様方には審判のお手伝いの方もよろしくご協力ください。(佐藤 敏明)

小 3

先日の館選手とのサッカーでは、みんながなかなかいいプレーをしていたと思います。ただ、いつも以上に頑張るプレーはしていましたが、考えるプレーという意味ではあまり出来ていなかった部分があると思います。全員がボールになんとなく近づいていく。ただボールが

触りたいことしか考えていない。といったプレーが多かったと思います。ですから、ボールをとった時、近くに(周りに)相手だけでなく、見方も大勢いる状況となり、ドリブルもしにくいし、パスを出すところもなく、またボールを取られてしまいます。ですので、周りをみるだけでなく、「常にその状況で何をするといいのかを考える」「その後のプレーを想像する」といったことを常に強く意識して、サッカーに臨んでください。

いままで何回も伝えてきた

- ・ 取られたボールは自分で取り返す。(人任せにしない)
- ・ ボールをもらったら顔をあげる。
- ・ 相手(の位置・体勢)をみて逆をとる、判断(シュート・ドリブル・パス)する
- ・ 常に周りを見回し、どこが危ないか?どこがチャンスか?を見つける。(そして動く)

は当然のこととして

今後は、

- ・ パスの出すタイミング(相手との距離、味方の位置を考えて、どのタイミングでどのコースに出せばいいか?)
- ・ パスのもらう動き方(どの位置がパスをもらえるか?どのタイミングに動けばいいか?)
- ・ パスをもらったらどの方向にボールを止めたいか
- ・ ディフェンス(守り)時の体の向き
- ・ ディフェンス(守り)時のポジショニング(立つ位置、相手との距離)

を指導していこうと思っています。

まだサッカーを始めて間もない選手はあせらず、「止める・蹴る」の技術を磨いて欲しいと思います。日頃、一人でも出来る練習はあるはず。練習して下手になる人なんていませんので、少しずつで良いですから、しっかりインステップに当てる練習でも、浮き球をトラップする練習でも日頃からやってみると格段に上手になると思います。

また、これからは気温が下がると思います。練習や試合の後は汗をかいたユニフォームを着替えて、上着を着て体を温めて、風邪をひかないように体調管

理に注意して下さい。(益子 伸孝)

小 2

【最近の活動での取り組み】

9月は国チビに近いこともあり練習試合を多く組みました。練習試合を重ねるうちに、今まではただ目の前のボールを追いかけていただけだったのが、それぞれに考えてプレーする選手が増えました。「混戦には参加しないで前の方でボールが来るのを待ってみた。」「全体が見渡せる後ろに下がって、こぼれてくるボールを狙ってみた。」とコーチにもそれぞれが立てた作戦を必死に説明してくれることが多くなりました。その考えが例え最善でなかったとしても考えてプレーすることは非常に重要です。ぜひ試合が始まる前に自分なりの作戦を立てて試合に臨んでみてください。そして、いい作戦が立てられたときにはどんどんコーチにその作戦を聞かせてください。

一方でここ最近の最大の課題は「取られたボールは自分で取り返す!」「相手よりも先にボールを触る!」「絶対にシュートは打たせない!」といった、ボールや試合に対する“がむしゃらさ”が足りないことが挙げられます。もちろん中には毎試合ユニフォームを泥だらけにしながらいずれも倒されても倒されてもどんどんチャレンジしている選手もいますが、多くの選手がボールに対して消極的で、譲り合ったり簡単にドリブル突破を許したりシュートを打たれてしまったりする場面が多く見られました。失敗を恐れずどんどんボールに向かっていき、この年代でしか経験することができないお団子サッカーの混戦のなかで、キープ力や競り負けない力強さを身につけてほしいと思います。

【第 43 回横浜国際チビサッカー大会】

いよいよ A チームから国チビが始まり、現時点(9/25)で2試合を戦いました。選手たちは初めての公式戦にも関わらず全く臆することなく試合に入ることが

でき、力を発揮することができておりとても頼もしく感じました。これから始まる S チームも含め、最後の最後まであきらめず試合終了の笛が鳴るまで走りぬきましょう。そして、初めての公式戦を楽しみましょう。

保護者の方々には審判や引率をお手伝いいただき、本当にありがとうございます。また、多くの方に会場まで足を運んでいただき、暖かい声援を送っていただきありがとうございます。選手たちはいつも聞きなれた声での応援を聞くことにより会場の雰囲気にもまれることなく、いつもどおりプレーし、力を発揮することができると思います。ぜひ会場まで足を運んでいただき選手たちを応援してあげてください。(豊田 泰弘)

幼児・小 1

【ドリブルで相手をかかわすこと】

他チームとの試合を通じて、負けることの悔しさや自分が思っていることと試合のできることとのギャップがわかってくれたと思います。その中でも私が目指すチーム作りとして欠けているのがドリブルでした。そこで9月は、「ドリブルで相手をかかわすこと」を中心に練習を行いました。ほとんどの子供たちがコーンやコーチをかかわすことができるようになってきたのですが、相手を抜くことばかりに気を取られてしまい、肝心のゴールに向かえなくなっている子が多く見受けられました。そこが次の目標になってきます。

【約束】

より良いサッカーをするための環境を築き上げるために、

- ① 集合の合図がかかったら歩いてこないで駆け足で来ること
- ② サッカー以外のこと(喧嘩やテレビの話 etc)はやらないこと

この2つをみんなで約束しました。守らなかった子にはきつく指導するつもりですが、これも一緒に楽しくサッカーをやっていくためなので、なにとぞご理解をお願いします。(近江 柔)

対外試合を重ねるごとに子供たちが、プレー面で遅く成長してきていることを実感しています。ドリブルで果敢に攻め込みシュート打つ、団子状態ですがボールを奪うことに集中しているシーンが多く見受けられるようになっています。そして、ユニフォームの色の違うチームと戦って「勝つ」ことに貪欲に取り組んでいきます。

普段の活動では見られなかった(あるいは気づかなかった)一人ひとりの特徴(現時点での理解力、判断力、想像力、表現力)も掴めてきました。往復の電車内や路上での言動、試合前の準備(着替え、用具準備、荷物整理等)、出場までの待ち時間で、子供たちはさまざまな行動をします。私の経験上、それらはどれも「想定内」のものばかりですが、子供たちには初めてのことばかりですので、「どうなるのか想像してごらん。」「今は何をしなければいけないの?」の声かけを一人ひとりの特徴に合わせて出すように心がけています。「～しろ!」「～するな!」の指示出しは出来ますが、「話を聞く」ことができて初めて「理解する」「理解したことを自分で表現する/行動する」ことが出来るので、保護者の皆さまにはもどかしいと感じられることもあるかと思いますが、見守っていただき、またご協力いただけたらと思います。

子供たちのプレーで、気になる点もあります。それは他のコーチたちも指摘していることですが、ドリブルで前方向に進んで、トップスピードからシュートする時に、体重が前にかからずにかかると地面について)重心がどちらかと言えば後ろにかかってしまっている、という点です。フリーランニングでは起こりにくいことですが、止まったボールを蹴る時とは異なる身体の使い方が必要となります。これは動いているボールを強く蹴るという場面を通して会得してもらわなければならないので、そのためのトレーニングを今後はたくさん取り入れていきます。

(浜野 正男)

Papas

【Comp 県リーグ2部現在1位!】

神奈川シニアサッカーリーグ四十雀

(40代の部)2部に参戦しているCompが現在1位で終盤戦を迎えています。9月18日現在で、8戦6勝1敗1分の勝点19と好成績で念願の1部自動昇格を目指して奮戦しています。残り試合は、10/2に勝点16で2位の寒川戦、10/23に8位の平塚戦、期日未定で10位の横須賀戦の3試合です。ということは、このトリコロールが配布される10月2日の2位の寒川との試合が天王山とも言える試合であります。この試合に勝てば2位に差を付けることができ、1位での1部への昇格が現実味を帯びてきます。ご支援をよろしく願い申し上げます。

【Rec は4部現在8位】

Rec は四十雀4部に参加していますが、9月23日現在で、8戦2勝3敗3分の勝点9で13チーム中8位で終盤を迎えています。4試合残っていますが、6位の大和、4位のdfb、5位のTFC、現在は電力制限令のため試合消化が進まず現在12位(昨年2位)のtsujikoと4部の強豪との対戦ばかりです。相手チームは、終盤になって順位を上げるために、Recをたたきに来ますので、相当厳しい戦いが予想される場所です。昨年は12位とここ数年、低迷が続くRecですが、これからの終盤戦を大勢の参加者の強い気持ちで試合に臨み、何とか低迷脱出を果たしたいところです。

【市シニア大会は 10/29、10/30 の連戦!】

横浜市協会シニアの大会は現在予選リーグAグループの2試合が終了し、ニッパツ三ツ沢球技場での決勝戦を目指しているところ。ここへ来ての日程変更で、予選リーグ残り2試合が、10/29土、10/30日の二日連続となりました。文字通りの山場です。幸いRec&Compともに県リーグ戦がないので、大勢の参加者の全員サッカーでこの二日を楽しんで、ニッパツ三ツ沢へと歩を進めたいところです。

というわけで、次号トリコロールではこれら3チームの結果をお伝えすることに

なると思います。ご支援をお願いいたします。

Rec&Compでは、来年度に向けて新メンバーを大募集しています。このトリコロールを読んでおられるあなた、あるいは貴方の夫君、40代の皆さん、小学生のお父さん、経験、実力は問いません。ぜひシニアリーグに参加しませんか。

(茅野 英一)

ヨーガ

【ついに DVD 発売します!】

なんとヨーガのDVDを出すことになってしまいました。

昨年のTV出演に続いて、なぜかこんな方向に向かっています。人前に出るのは苦手なのに…。しかし、これも運命です。ベストを尽くしましょう。

9月19日に無事に収録を終えました。新宿の撮影専用スタジオにて、10時から撮影をスタートし、終わったのは夜の10時半。結構な長丁場でした。でも、スタッフも出演してくれる方々も、本当に良い方ばかりで全くのストレスフリーでした。なんて幸せなのでしょう。

このDVDが世に出ることによって、もっともっと沢山の方々にヨーガで元気になっていただきたいです。

仕上がるのは10月中旬の予定です。今から楽しみです。(伊藤 玲子)

理事長の戯言

【台風】

久しぶりに台風が直撃しました。強風により、我が家の樹高6mほどの月桂樹が道路に倒れかかり塞いだために、あの天気の中、チェーンソーをもって悪戦苦闘。2時間ほどかかり、ようやく開通させることができました。

私はその程度ですみましたが、多くの会社勤めの方は、またもや帰宅難民となった模様。

そんな中、ネットで、駅員さんのなかなか味のある(?)放送が紹介されていたので転載します。

*横浜線

「横浜線、この電車のみ運転致します。
行けるところまで参ります！ご乗車に
なってお待ち下さい！！」

*ある駅員

「電車に乗るのは諦めて会社に帰ってく
ださいーい！！！」

*有楽町線

「災害ですので仕方ないんです。僕は風
を止められませんか！」

*ある駅員

「東海道、京急、京浜東北、東横…横浜
に帰る術はありませんっ！」

*小田急線

「皆さん申し訳ございません。私運転士
はこの仕事を選んだプライドがございま
す。みなさまを無事送り届けるまで頑張
りますので、どうぞよろしく願いた
します。」

*東横線

「早くおうちに帰りたい気持ちはわかり
ます、私も帰りたいです、でも押し
合わないでください、電車は逃げま
せーん！」

*総武線

「ただいま総武線各駅は運転を見合わせ
ております。…その理由は5つございま
す」

*浅草線

「行き先が決まっております」

*京王線

「4番線に雨風しのげる車両をご用意し
ております」

*京急線

「帰れないのは私も同じです」

*井の頭線

「誠に残念なお知らせです」

…みなさん、お疲れさまでした！

(内田 佳彦)